

2024-25 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1609 回 (35)

会 長 鹿 内 要 秀 幹 事 吉 山 聡

クラブ会長テーマ



「 奉仕によろこび、よりよい社会を築こう 」

日 時	2025 年 4 月 15 日 (火) 12 : 30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 それでこそロータリー 」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告

【 会 長 報 告 】

ロータリーの広報活動について

ロータリーはロータリーデー以降広報活動を積極的に行うようになりました。

ロータリーデーとは 2014-15 年度 RI 会長の黄氏（台湾）が提唱した公共イメージ向上のためのイベントのことです。それまでのロータリーは陰徳を積むことを大事にしてきましたが、それでは地域社会の理解を得られず、仲間も増やせないのも、自分たちが行っている奉仕活動を積極的に広報しましょうということで行われたのがロータリーデーです。日本では当初、戸惑いを見せた地区やクラブもあったようですが、始まってみるとかなりの地域で実施され、「友」誌にはその報告が沢山掲載されていました。

我がクラブでもこれについていろいろな意見が出ましたが、25 周年の記念講演の際に集まった一般の方々にロータリーの奉仕活動を紹介するビデオを観てもらい好評を得ました。それ以降もホームページの充実など様々な方法で広報活動を行っておりますが、認知度向上にはまだまだ足りないように思います。それは、スマートフォンの普及により広報手段が格段に増えた事でホームページが媒体として旧式になり、あまり観られなくなったのも要因です。今後はインスタグラムなどのお手軽な手段を使うなど、時世に合わせた広報活動を行わなければならないでしょう。

ロータリークラブは会員増強の為に広報活動は益々重要になっていくと思います。

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・「大船渡大規模山林火災に対する支援金」について 御礼及びご報告
2	米山記念奨学会より ・ハイライトよねやま
3	福山北 RC より ・G10・G11 合同 IM 報告書（USB）の送付
4	福山丸之内 RC より ・新旧会長幹事引継会のご案内

【プログラム情報】

《 RLI 報告 ・ PETS 報告 》

2025-26年度会長エレクト&地区チームラーニングセミナーとRLIに参加して

2025-26会長エレクト

河村 直孝



今日は、先日開催された会長エレクト研修セミナー（PETS）とRLI 参加した内容と感想を報告させていただきます。
他人の報告事項は退屈なものでつつい眠くなってしまうがちです。そうならないようにこの時間を使わせていただきます。

3月16日（日）10時からホテルグランピア広島で2025-26年度会長エレクト研修セミナーが開催されました。

土肥ガバナーエレクトより

会長エレクト研修セミナー（PETS プレジデントエレクトトレーニングセミナーの略）は、次年度クラブ会長が7月の就任に向けた準備をされるためのものです。このセミナーでは自らの役割や責務、クラブの目標の設定、クラブ役員の人選、クラブの運営と管理、会員の増強と退会防止、クラブの奉仕プロジェクトへの取組、ロータリー財団の活用、公共イメージの向上策などについて学ぶものです。さらにRIや地区とのコミュニケーション・連携の在り方を考える。各クラブが活力ある魅力的なクラブであるために、ガバナー補佐と協力して様々な取り組みを進めるように考える。

また、地区チームラーニングセミナーは、次年度ガバナー補佐、次年度地区委員会委員長・委員が年度の活動を準備されるためのものである。

RIは、2024年7月の理事会において「3年間の継続目標」が年次目標の設定の必要性を上回るものであることを指摘し、ロータリー章典第27.060.2「年次目標」を削除しました。次年度RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏（通称マリオ）は、今年2月の国際協議会で「よいことのために手を取りあおう」というメッセージを出されました。世界で良いことをする共通の友人と共に手を取り合い、人々に奉仕していきましょう。

今年度RI会長はマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏

セントアンドレRC（ブラジル・サンパウロ）会員数150名

職業は、印刷とグラフィック関係のコンサルタントです

今年度より会長テーマがなくなり行動計画を重視

会長メッセージ UNITE FOR GOOD

「よいことのために手を取りあおう」

ロータリーの最大の財産は、歴史でもプロジェクトでも比類のない世界的な広がりでもなく、それは会員です。会員は地球上で最も有能なボランティアのチームです。

ロータリーが世界に与えることが出来る最大の贈り物は、その会員です。

マリオ会長は、会員増強を私たち組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

会員増強と活性化には、革新、継続性、パートナーシップが不可欠である。これらの原則はロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する**唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。**第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。ロータリー会員は**行動人**です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をやるのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。これが、2025-26年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。

ガバナー信条

「Enjoy Rotary」思いやりと奉仕の心で

「ロータリーを知り、楽しみ、仲間を増やそう」

ロータリーの目的

「自分の職業の中に奉仕の理想を取り入れこれを育て発展させること」

奉仕の理想

「自分がしてもらいたいことを他人にもしてあげなさい」

ロータリーをもっと知って、楽しむ

会員増強

ロータリー財団への支援

年次基金 150 ドル/人

恒久基金 ベネファクター1 名以上

ポリオプラス 30ドル以上/クラブ

米山記念奨学会支援 16,000 円以上/人

地区大会 10 月 17 日記念ゴルフ大会

10 月 18 日大会委員会

10 月 19 日本会議

2025-26PETS 報告書2

基調講演 「クラブ・地区リーダーに期待すること」

2023-26 年度 第一地域公共イメージコーディネーター補佐

田中久夫氏（高崎 RC）大学教授

事例報告	1998 年 6 月	会員数 98 名	田中氏入会年度
	2014 年 6 月	64 名	
	2015 年 6 月	115 名	田中氏会長年度
	2024 年 6 月	140 名	現在

会員増強（クラブの成長）に必要な 3 つの DEI

D ダイバーシティ（多様性）

E エクイティ（公平性）

I インクルージョン（包括性）

迎える土壌⇒クラブ文化⇒良質な居心地

蒔きたい種⇒新人の多様性⇒純粋な楽天性

注がれる水⇒現会員の備え⇒寛容で公平な心

考えるべき点

クラブの持つ文化（居心地）が新たな入会者を温かく迎え入れているか？

すべての会員が自分のペースで自分らしく参加できているか？

入れたい新人の条件とは

バイタリティーがあるか

楽天的であるか（暗いのはダメ）

自己修練が出来るか（毎日頑張れるか）

退会の理由

第一位 経済的時間の負担 30%

第二位 クラブの環境と文化 23%

第三位 期待に沿わなかった 19%

クラブにおいて寛容さを阻害する 4 つの問題点

- 1 どここのクラブにも生息する「老太狸暗」
- 2 シニア会員に求められる「自省」
- 3 せっかく入ってきた新会員のフォロー」が出来ない現会員
- 4 会員増強にやる気のないクラブ・リーダー

ロータリーの真髓を知ろう

質問 皆さんはなぜロータリーを続けているのですか？

ロータリーでは、「人生の目的」を知ることが出来るという人がいます

人生の目的とは 先覚者は、どう説いているか？

新渡戸稲造 「品格の完成」

仏教（真言宗） 「心を磨く」

京セラ稲盛和夫 「心を磨き魂を高めること」それは生きる意味、人生の意義そのもの

ロータリーの魅力は、「自分磨きの旅」を経験出来ること （米山梅吉）

その答えは「例会」にあるはずです

ロータリーの効用は？

シニア会員 「キョウヨウ」と「キョウイク」

中堅会員 仕事。家庭の充実のための人脈の活用

若手・新入会員 未知の業界における多数の人脈を手に入れられる

私たちがクラブに約束すること

クラブから求められる適材になる

クラブにおける自分の役割を知る

その役割を果たすため努力する

結論

今当地区が求めているものは

あなたは誰かの紹介があってクラブに入った

今度はあなたが誰かを勧誘する番だ

マリオ会長の言葉

今ロータリーに必要なものが 3 つある

- 1 会員増強
- 2 会員増強
- 3 会員増強

└クラブとの違い

皆さんが誰かをロータリークラブに誘おうとしたとき、相手から必ず発せられる質問

「ロータリーと└クラブとどこが違うの？」にどのように答えていますか。

「I serve と We serve の違いがあって・・・」「職業奉仕の有無とか・・・」などと答えて相手の要領を得られると思っていませんか。それでその人が納得すればいいのですが、あまり勝率はよくないかもしれません。

両者の違いをどう説明すれば相手の腑に落ちるのかを常々考えていました。ある地区の会長さんとの会話で逸話に出会いました。

その会長さんは、ロータリークラブに入る前に半年ほどＬクラブに入っていた経験がありその時にある出来事に遭遇しＬクラブに嫌気がさして辞めたというのです。

会長さんが経験したのは・・・。

「在籍がわずか半年、Ｌクラブの会員たちとはそれほど親しくなっていない当時、ある古参の会員から一つの仕事（ＩＴ関係）を頼まれました。そこで見積もりをしてその金額に了解を得てから仕事に取り組み、納期通りに完了したのです。その後その請求をしたところ、その会員からは『申し少し負けてくれないかな、Ｌクラブの友情に免じて頼むよ』と言われました」

「僕はそれを聞いて、その会員は通常の商取引のルールを無視し、わずか半年しか在籍していない者に友情を持ち出すという非常識、しかもそういった古参会員の存在を当たり前のように許してきたＬクラブのゆるい体質に失望したのです。」

「僕はサッサとそのクラブを辞めて、以前から誘われていたロータリーに入りなおしました。その後、ロータリーではそのような非礼にあったことはありません。大変居心地がよく、今では会長にさせていただきました」

そうです。ロータリー会員は常識人の集まり。商行為のルールはキチンと守り、お互い納得した関係の中で物事が成立するものです。私も日頃、ロータリー会員に仕事をお願いするときに値切ろうなんてことは考えたこともありません。相手もこちらのことをよく考えてくれた末に金額が提示されているのだと信じています。だからロータリー、ロータリー会員とは安心してお付き合いできるのです。

公共イメージは、日頃のお付き合いの中で時間を掛けて醸成させていくものですが、それが崩れるのは一瞬です。お互いロータリー会員としてのロータリーの公共イメージを大切にしましょう。

昼食をはさんで午後の部へ。

午後からは、テーマ別研修です。

会員増強について

ロータリーイメージの向上

ロータリー米山記念奨学事業

ロータリー財団について

そしてグループ別のセッションでは

グループ１１のガバナー補佐 橋本慎吾氏（福山赤坂 RC）を中心に

ガバナー補佐幹事梅西氏

福山赤坂会長エレクト 清水氏

福山北会長エレクト 池田氏

福山南会長エレクト 森氏

松永会長エレクト 前田氏

と私の７名で自会の会員数の状況などを和気あいあいと話をしました。

幸いにも５クラブ合同の例会があったばかりで、来年も企画しようという話も出ました。

最後に土肥ガバナーエレクトからクラブ会長の役割と責務

ロータリーの行動計画と３年間の目標の話

優先事項

１ より大きなインパクトをもたらす

そのプロジェクトのもたらす効果

2 参加者の基盤を広げる

会員増強・クラブ運営方法の柔軟性

3 参加者の積極的なかわりを促す

4 適応力を高める

クラブ内 会員は何を求めているか

クラブ外 その地域でのロータリーの存在価値は？

PETSに参加して私自身ロータリーについての考え方が少し変わりました。

それは、ロータリーは、奉仕は手段であり目的は、自己研鑽であるということです。

今まで参加できるときだけ参加すれば良いと思っていましたが、会長として皆さんと一緒に自己成長できる場を共に作っていきたいと感じました。

明るく楽しくみんなで奉仕！

RLIに参加して

RLIとは、「Rotary Leadership Institute（ロータリー・リーダーシップ研究会）」の略称です。

これは、ロータリークラブのリーダーシップを強化するための多地区合同の教育プログラムです。

RLIは、ロータリアンがリーダーシップスキルを向上させ、クラブの活性化や柔軟性を促進することを目的としています。

このプログラムでは、リーダーシップ、奉仕活動、会員組織の強化などをテーマにしたディスカッション形式のセッションが行われます。参加者は、ロータリーの理念や活動について深く学び、他のクラブのメンバーと交流する機会を得ることができます。

RLIは、ロータリークラブの公式プログラムではありませんが、ロータリー国際本部（RI）によって承認されています。これにより、ロータリアンがより効果的なリーダーとして成長するための貴重な学びの場となっています。

印象に残った事

- ・会暦の浅い会員も幹事や会長エレクトとして参加されていたこと
- ・ロータリーの目的の再確認
- ・ファシリテーターの投げかけ方によって討論の満足度が違うこと
- ・米山記念奨学事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和に本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」（ロータリー米山記念奨学会史より）
つまり、貧窮を救う奨学金でもなく返済の義務もない



【その他報告】



《 3 分間スピーチ 》

ロータリー情報委員長 竹中 雅彦

職業奉仕とは何ですか？

職業奉仕について 1972 年 9 月号「The Rotarian」から RI2680 地区 田中毅 PDG が訳されていますので紹介します。

職業奉仕とは何ですか？に対して

簡単に定義すれば、あなたの職業を通じて他人を助けることです。

職業奉仕とは、職業分類に基づいた会員制度という、まさしくロータリーの原点とも言える原則に基づいたものなのです。

職業奉仕は全ての職業人、すなわち従業員、同業者、顧客、供給者相互関係の基本的な要素です。ロータリーに入ったからには、あなたは最も高い倫理基準を掲げ、様々な取引においてその倫理基準を守るように心がけなければなりません。

顧客に対する対応

あなたが供給できる最良の品質、最良の技術を提供していますか？

あなたは礼儀正しく正直ですか？

従業員に対する対応

満足する報酬を与えていますか？

安全で快適な職場を提供していますか？

従業員との紛争に公正に対応していますか？

忠誠、正直、好意の手本を示していますか？

同業者に対する対応

彼らに対して公正な態度で接していますか？

誠実さを感じとれる行動をしていますか？

業界において共に手を携えて、職業倫理の高揚に努めていますか？

納入業者に対する対応

公正で友好的な関係ですか？

口約束であっても正式な約束として守りますか？

職業奉仕とは会員になったあらゆるロータリアンに課せられた個人的な義務です。ロータリークラブは新会員が入会したときではなく、その後もずっとこの義務を強調しなければなりません。そしてクラブは義務を果たしているかどうかを各会員に尋ねる権利と義務があります。

職業奉仕は難しいですか？

職業奉仕は個人の宗教や倫理的な原則の代わりをするものではなく、事業における倫理を適応する方法を提供するものなのです。

【 クラブ 活 動 報 告 】

特にありません。

